

春季展 「富岡鉄斎展」

富岡鉄斎(1836～1924)は、明治、大正を通じて大きく変革する日本画壇において、独自の画風を展開した文人画家です。その画歴はおよそ70年にわたり、一万点に上るといわれる作品は実に多彩で、文人画の枠をはるかに越えています。

鉄斎と北辰馬家の親交は明治40年、初代悦叟73歳、鉄斎72歳の頃より始まり、鉄斎が89歳で亡くなるまで続きますが、この頃は鉄斎の長い画歴の中でも最も円熟味を増し、多くの傑作を生み出している時期にあたります。

現在辰馬考古資料館に収蔵されている150点の辰馬家旧蔵鉄斎作品の中には、折々の挨拶や答礼と共に贈られたものや、悦叟の喜寿を祝って描かれた『三千歳図』、病氣見舞いに相次いで贈られた『漁夫快酔図』『天鈿女命神楽舞図』等五幅の円相、両者の親交を示したものが数多く含まれます。このたびの春季展では、鉄斎と悦叟の交遊によって染筆された作品を中心に展示いたします。

主な展示品

- 鉄斎作品 37点
掛軸・扇子・印章・書翰



富而不驕図



赤柿入手図

開催概要

展覧会名称	平成28年度 春季展 「富岡鉄斎展」
期間	平成28年3月26日(土)～5月8日(日) (前期3/26～4/17、後期4/19～5/8) 10:00～16:30(入館は16:00まで)

入館料	一般200円 大学生100円
休館日	月曜休館
交通	辰馬考古資料館へは、阪神電車香櫨園駅より徒歩2分 JRさくら夙川駅より徒歩7分 阪急電車夙川駅より徒歩10分

辰馬考古資料館

公益財団法人 辰馬考古資料館
〒662-0962 兵庫県西宮市松下町2-28
TEL&FAX 0798-34-0130
tatsu-kouko@syd.odn.ne.jp



夏季教室展「なぜ解き 考古学2016」

当館が4年に1度開催するクイズ形式の展覧です。あらゆる資料が問題の選択肢やヒント、答えのありかとなっています。

集中して問題を解いたり、解答を片手にいつも通りの鑑賞をしたり、思い思いの楽しみ方で、考えながらご覧ください。

主な展示品

- 土偶(青森県 亀ヶ岡)
- 土偶(出土地不詳)
- 袈裟襷文銅鐸(出土地不詳)
- 三角縁獣鏡(伝 大分県)
- 鬼瓦(出土地不詳) ほか



三角縁神獸鏡



土偶



[パンフレットはこちらから](#)

開催概要

展覧会名称	なぞ解き考古学2016
期間	平成28年6月11日(土)~9月4日(日)
開館時間	10:00~16:30
入館料	一般200円、敬老・大学生100円
休館日	月曜日(7/18は開館し、7/19を休館とします)
交通	辰馬考古資料館へは、阪神電車香櫨園駅より徒歩2分 JRさくら夙川駅より徒歩7分 阪急電車夙川駅より徒歩10分

秋季展「銅鐸の時代」

昨年、淡路島で新たに7点発見された銅鐸について、当館所蔵品を題材に、改めて振り返ります。弥生時代と代表する考古遺物である銅鐸が、どのようにしてつくられ、使われ、姿を消していったのか、また、時代・地域・工人の違いによって何が変わるのか、研究の現状に則してかんがえます。

主な展示品

- 流水文銅鐸(伝 滋賀県 出土)
- 流水文銅鐸(伝 淡路島 出土)
- 横帯文銅鐸(伝 鳥取県 出土)
- 袈裟襴文銅鐸(兵庫県 淡路川 出土)
- 袈裟襴文銅鐸(愛知県 中根 出土) ほか



横帯文銅鐸(伝 鳥取県 出土)



[パンフレットはこちらから](#)

開催概要

展覧会名称	秋季展 「銅鐸の時代」
期間	平成28年10月8日(土)～12月4日(日) (開館は午前10時から午後4時30分。入館は午後4時まで。)
入館料	一般200円、敬老・大学生100円、高校生以下無料 (ただし、11月19日(土)・20日(日)は「関西文化の日」として無料で見学できます。)
休館日	月曜日(祝日の場合は、翌日を休館日といたします)
講座	10月22(土)、11月27日(日)に学芸員による展示解説を行います。 10:30 / 15:00 の2回開催いたします。 事前申込みは不要です。時間までにご来館下さい。
講演会	日時：11月5日(土) 13:30～15:00 講師：難波 洋三氏(前奈良文化財研究所埋蔵文化財センター長)「淡路の銅鐸」 会場：西宮市教育文化センター(西宮市川添町15-26) ※事前申込みは不要です。時間までにご来館下さい。
交通	辰馬考古資料館へは、阪神電車香櫨園駅より徒歩2分 JRさくら夙川駅より徒歩7分 阪急電車夙川駅より徒歩10分